

金属プレス加工のデジタルトランスフォーメーション (DX) ・ 第2弾
中小製造業が IT ベンダーを活用する際の「心得」と「成功事例」

主催 : 一般財団法人 素形材センター
一般社団法人日本金属プレス工業協会

DX 推進のセオリーは、まず、IT の活用によって自社が「何を」、あるいは「何処を」目指すべきかという経営戦略を策定、次にはその戦略を実現するための戦術を練り、そして実行に移すということになる。この一連の流れにおいて、戦略はあくまでも経営者が策定すべきである。なぜなら、企業の状況を最も熟知し、その責任の所在は経営者にあるからである。戦略の策定をも IT ベンダーに丸投げし、失敗に至る事例は多い。一方の戦術・実践では、高度な IT 技術を身に付けた人材が必要となる。IT 技術者が不足する中、中小製造業が個別に雇用するのは難しい。社内での人材育成もそう簡単な話ではない。IT ベンダーの力を借りるのも解決策の一つとなり得よう。

本セミナーでは、失敗しない IT ベンダー選択のための注意事項と、すでに IT ベンダーを活用して成功したという中小製造業の事例を紹介し、今後の DX 推進におけるヒントを探ります。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

●日 時 令和5年12月15日 (金) 13:00~17:00
オンラインセミナー (Cisco Webex Meetingsを使用)

●プログラム コーディネーター 元湘南工科大学 片岡 征二

《IT ベンダー選択時の心得》

1. セミナー開催趣旨と DX 推進における戦略・戦術について-----13:00~13:40

「戦略のミスは戦術でカバーできない!」と言われるほど戦略の策定は重要である。経営戦略は世の中の動向と自社の将来像の分析を基に策定される。その戦略の目的を達成するために、これまでの経験・ノウハウを核として戦術が練られる。研究者が研究を遂行するやり方と酷似している。ここでは、両者を対比しながら DX についての理解を深める。

元湘南工科大学 片岡 征二

2. 経営者と IT ベンダーを繋ぐために欠かせない CIO、CDO の存在 -----13:40~14:20

①中小企業には大企業とは違った DX 導入の難しさがある。その点を説明する。②ドイツにおける製造業 DX の動向を説明する。製造業の繁栄が国民の幸せという国民意識を持ったドイツでは 2013 年にインダストリー4.0 構想を発表し国を挙げて製造業、特に中小製造企業への DX 導入に邁進している。③筆者が 2016 年から主催している中小製造企業への DX 導入に関する研究会について紹介する。

独立行政法人経済産業研究所 リサーチアソシエイト 岩本 晃一

3. DX を実現する為の情報システム化企画作成のポイント -----14:20~15:00

昨今 DX が注目されている。DX は単なる IT 化ではなく、企業変革を伴うデジタル化である。その為、DX を実現する為に経営戦略を策定し、それを実現する IT 化を企画する必要がある。今回は、DX 化を図る為に必要な戦略を実現する為の IT 化企画の作成方法、IT ベンダーの選定法などについて紹介する。

有限会社ダイコンサルティング 代表取締役 坂田 岳史

4. 総合討論 -----15:00~15:10

《IT ベンダー活用による成功事例》

5. 皆が幸せになるスマートファクトリーを目指して -----15:20~15:50

IoT による設備稼働の可視化によって、稼働率 10%アップを実現。ものづくりの現場における 400 種類の帳票のペーパーレス化の実現、グループウェアによる情報共有など、先進的な取り組みを実践。ものづくり DX としての「工場の見える化」、そして「皆が幸せになるスマートファクトリー」を目指した取り組み事例について紹介する。

株式会社武井製作所 代表取締役 武井 哲郎

6. アウトソーシング活用による少ない人数での DX 推進 -----15：50～16：20

社員2名による自前構築・維持していた社内システムの在り方を見直し、積極的にアウトソースを活用し導入を進めた加工機への Iot や Salesforce を活用したチャネル強化、ゴルフヘッドの検査装置などのデジタル化について紹介する。

株式会社遠藤製作所 取締役 経営戦略室 遠藤 新太郎
セブンシックス株式会社 技術部 郡司 翔平

7. ツバメックスの TADD システム開発-----16：20～16：50

金型製造において設計情報を現場で活用するための仕組み「TADD システム」を自社開発した。TADD システムから自動出力される情報を職人に使ってもらうために、どの様に環境と文化を変えてきたのか。その先には地域企業間をいかにして連携していくのか。仮想的な企業体形成を目指す挑戦の一端を紹介する。

株式会社 ツバメックス 開発部 荒井 善之

8. 総合討論 -----16：50～17：00

* 状況によっては、プログラムの変更、開催を中止させていただく場合がございますので、ご了承ください。

●参加要領

◇定員 80名 (申込順に受け付け、定員になり次第締め切ります)

◇参加費 会員価格：6,600円(消費税込み)
一般価格：13,200円(消費税込み) **講師資料は PDF で送信いたします。**

素形材センター特別賛助会員・一般賛助会員、日本金属プレス工業協会会員は、会員価格となります。協賛会員の方へ：協賛会員の特典にセミナー・研修の割引はありません。ご理解をお願いいたします。開催前日まで参加取消のご連絡がなく、当日欠席されても参加費はお返しいたしません。

◇申込方法

素形材センターホームページからお申込み可能です。 <https://www.sokeizai.or.jp/pages/112/>

下記申込書に所要事項記入の上、E-mail でお申込みできます。

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館3階301号室

一般財団法人 素形材センター 企画部

E-mail kensyu@sokeizai.or.jp 電話 03(3434)3907

◇参加費のお支払い

参加申込後、請求書を郵送します。

(領収書を必要とする場合は、申込書にその旨をご記入下さい。振込手数料はご負担願います。)

◇申込締切 令和5年11月30日(木)

◇注意事項

・Cisco Webex Meetings を使用したオンラインセミナーです。セミナー参加のために、パソコンやタブレットなどの端末と、インターネット環境、メールアドレスが必要です。また、通信費は参加者負担になります。

・カメラ、マイク、スピーカーを備えたパソコンでの参加を推奨しています。

・セミナーの録音・録画等や、本セミナーのコンテンツ(セミナー参加の URL、パスワード等)を外部に流出させる行為は、固くお断りいたします。

・1名様につき1つのお申し込みとしてください。1社で複数名様をご参加の場合、それぞれお申込みください。

・映像や音声がかかる場合がございます。ご了承ください。

・参加者ご自身の機材に関するトラブル等のお問合せには、事務局は対応いたしかねます。

※その他注意事項につきましては、参加申し込み後にお送りするメールに記載させていただきます。

個人情報保護法に関する対応

ご記入頂いた個人情報は、本セミナーの事務利用するとともに、参加者リストを作成し、講師に手交します。また、素形材センターの行う各種研修、セミナー、出版物、事業の案内状の送付に利用する予定です。今後、素形材センターが行う素形材産業の実情に関する調査アンケートへの協力依頼を行う場合もあります。

申込書

素形材センター企画部 E-mail kensyu@sokeizai.or.jp

オンライン素形材技術セミナー
金属プレス加工のデジタルトランスフォーメーション（DX）・第2弾
中小製造業がITベンダーを活用する際の「心得」と「成功事例」

申込日 令和5年 月 日

会社名		
住所	〒	
電話番号		所属区分該当に○印をつけて下さい ア. 素形材センター特別賛助会員 イ. 素形材センター一般賛助会員 ウ. 日本金属プレス工業協会会員 エ. 上記いずれも該当せず (素形材センター協賛会員含む)
E-mail		
受講者氏名	ふりがな	
所属・役職		
備考		

*メールマガジン 購読希望

素形材センターメールマガジン購読をご希望の方はチェックを入れてください。
定期的に、事業の最新情報、募集案内、イベント情報、その他、官庁関連情報、業界情報などを無料で配信しています。